

Release Identification: LT2309

2008.02.21

リニアテクノロジー、新製品「LTC2309」を販売開始

8 つの入力を測定し、消費電力わずか 1.5mW の 12 ビット、I²C 逐次比較型 ADC

2008年2月21日 - リニアテクノロジーは、スループット・レート14kspsで1°C準拠の2線インターフェイスを介して通信を行う12ビット・アナログ・デジタル・コンバータ(ADC)「LTC2309」の販売を開始しました。LTC2309には、コマーシャル温度グレードとインダストリアル温度グレードがあり、1,000個時の参考単価は341円(税込み)からで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。

柔軟性に優れたこの ADC は 8 チャネル・マルチプレクサを内蔵し、8 つのシングルエンド入力チャネル、4 つの差動チャネル、または両方の組み合わせを測定することができます。入力チャネルは、ユニポーラまたはバイポーラ範囲にソフトウェアで選択可能です。LTC2309 は単一 5V 電源で動作し、消費電力は 1ksps のスループット・レートではわずか 1.5mW、シャットダウン時はわずか 35 μ W です。リファレンスを内蔵し、4mm×4mm の小型 QFN-24 パッケージで供給され、 1 C を使用する携帯用計測器やスペースの限られた設計に最適です。

LTC2309 はユニポーラまたはバイポーラ入力信号を測定し、 ± 1 LSB の INL および DNR、 ± 6 LSB(最大)のゼロスケール誤差、 ± 6 LSB(最大)のフルスケール誤差などの、優れた DC 仕様を達成します。また、AC 入力信号をデジタル化する場合に優れた性能を発揮し、1kHz で 73dB の SINAD と-88dB の THD を測定します。

標準モードで最大 100kHz、高速モードで 400kHz の I²C データ転送が可能です。また、"L"または"H"に接続、あるいはフロート状態に保持可能な 2 個のアドレス選択ピンを備え、9 個の独自 I²C アドレスを提供します。設計者が複数のLTC2309 デバイスと容易に通信できるので、9 本以上の入力チャネルの測定が必要なアプリケーションに最適です。

LTC2309 の特長

- 12 ビットの分解能
- I²C 準拠の 2 線インターフェイス
- 高速変換:変換時間が 1.3 μ s
- スループット・レート: 14ksps
- 低消費電力

1ksps で 1.5mW

スリープ・モードで 35 μW

● 8 チャネル・マルチプレクサ(8 本のシングルエンド・チャネル、4 本の差動チャネル)

リニアテクノロジー株式会社 www.linear-tech.co.jp

- 単一 5V 電源動作
- 小型 QFN-24(4mm×4mm)パッケージ
- 内部リファレンス、内部変換クロック
- SINAD:1kHz で 73dB
- ユニポーラまたはバイポーラ入力範囲
- 2個のスリーステート・アドレス選択ピンにより、9個の独自アドレスが可能

フォトキャプション: 12 ビット、I²C、8 チャネル SAR ADC

Copyright: 2008 Linear Technology

以上